



避難情報は どうやって 手に入るの？

これらを活用して、**最新の情報**を手に入れましょう



テレビから

データ放送やテロップ(文字情報)を活用しましょう

ラジオから

停電時や外出時など、大いに役立ちます



防災行政無線から

放送内容は、各市町のテレビジョンガイドで確認できます

広報車から

緊急時は、広報車が町内を巡回します

市役所や町役場に問い合わせる

お住まいの市役所・町役場の防災担当窓口へ電話で直接問い合わせる

スマホ・パソコンから 市役所や町役場のホームページのほかにも、これらのサイトを活用しましょう。

お役立ちサイト

石川県防災ポータル

県内の避難情報や避難所情報のほか、気象(注意報・警報)や台風など自然災害に関する情報を提供しています。

石川県防災ポータル 検索

<https://pref-ishikawa.secure.force.com/>



「Yahoo!防災速報」アプリ

設定した地域に関する豪雨や避難情報などの災害情報が配信された際に、通知を受け取ることができます。

Yahoo!防災速報 検索

<https://emg.yahoo.co.jp>



もっとくわしく 水害・土砂災害の危険度(警戒レベル相当情報)を確認できます

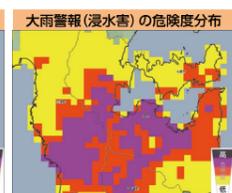
水害・土砂災害の危険度

洪水害・浸水害・土砂災害の危険度を見ることができます

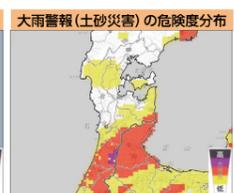
洪水警報の危険度分布



大雨警報(浸水害)の危険度分布



大雨警報(土砂災害)の危険度分布



気象庁キキクル(危険度分布)

▼パソコンからはこちら

キキクル 検索



▼スマホからはこちら

河川水位に関する情報

雨量、川の水位や川の様子などを見ることができます



石川県河川総合情報システム

地域情報が「ホームページ」で確認できます
▼パソコンからはこちら kasen.pref-ishikawa.lg.jp

石川県 河川情報 検索

☑地域情報を「メール」でお知らせ

気象や雨量、河川水位などの情報を配信
メール配信をご希望の方は、右のQRコードを読み込み、件名・本文を空欄にしたままメールを送信してください。



土砂災害に関する情報

地区単位で土砂災害の危険度などを見ることができます



石川県土砂災害情報システム

地域情報が「ホームページ」で確認できます
▼パソコンからはこちら sabo.pref-ishikawa.lg.jp

SABOアイ 検索

☑地域情報を「メール」でお知らせ

土砂災害警戒情報や危険度の情報を配信
メール配信をご希望の方は、右のQRコードを読み込み、件名・本文を空欄にしたままメールを送信してください。



解説動画 わたしの逃げる計画(マイ・タイムライン)の作り方

このリーフレットの内容を動画で分かりやすく説明しています
動画を見ながらマイ・タイムラインを作ってみましょう

▼パソコンからはこちら

石川県 命を守る 検索



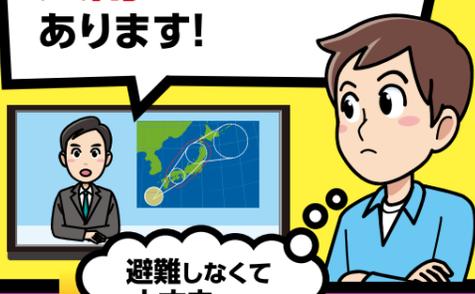
水害・土砂災害から「命」を守るために

保存版

警戒レベル4 避難指示

危険な場所から 全員避難!!

今後、石川県で大雨のおそれがあります!



まあ大丈夫だろう

避難しないで大丈夫かな?

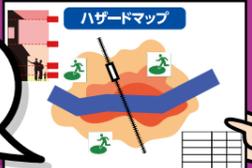


大雨時、あなたがとるべき避難行動は?



ここなら安全!!

身の回りの危険を「ハザードマップ」で確認しましょう



ハザードマップの確認方法

お住まいの市役所・町役場の防災担当窓口やホームページから入手できます。

国土交通省のホームページからも簡単に探すことができます。

▼パソコンからはこちら

わがまちハザードマップ 検索

▼スマホからはこちら

<https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/>

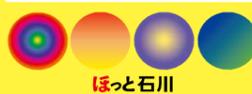


水害・土砂災害から 逃げる準備できていますか?

マイ・タイムライン

リーフレットを見ながら「わたしの逃げる計画」をつくっておこう

中面を開いてね



石川県土木部河川課
Tel:076-225-1736 Fax:076-225-1740
Email: e250900@pref-ishikawa.lg.jp

石川県土木部砂防課
Tel:076-225-1751 Fax:076-225-1752
Email: saboka03@pref-ishikawa.lg.jp

〒920-8580
石川県金沢市鞍月1丁目1番地
2022.7 作成

学んで

『避難』するにはどうすればいいの？



1 『どんな』危険が身のまわりにあるかを「ハザードマップ」で確認しましょう

ハザードマップとは？
水害や土砂災害の発生が予測される範囲や避難場所や緊急連絡先などの情報を地図に示したものです。

水害の危険

- 浸水するおそれがある区域です。
 - 5.0m ~ 10.0m : 2階以上が水没
 - 3.0m ~ 5.0m : 2階が浸水
 - 0.5m ~ 3.0m : 1階が浸水
 - 0.5m未満 : 床下が浸水
- 家屋が倒壊するおそれがある区域です。
 - 氾濫流による倒壊
 - 河岸侵食による倒壊

土砂災害の危険

- 土石流、地すべり、がけ崩れなどのおそれがある区域です。

土砂災害警戒区域
イエローゾーン: 土砂災害の恐れがある区域

土砂災害特別警戒区域
レッドゾーン: 住民や家屋に著しい危害が生じる恐れがある区域

※ハザードマップに記載がない場合があります。

2 『どこに』『どうやって』逃げるかを「ハザードマップ」で確認しましょう

避難場所を決めるポイント

原則として、**自宅の外に避難**しましょう。

- 市町が指定した避難場所
- 安全な親戚・知人宅

※普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

例外として

浸水の危険があっても、次の3つが全て確認できれば、

- ① 浸水する深さよりも高いところにいる。
- ② 洪水により家屋が倒壊するおそれがある区域の外側である。
- ③ 浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある。

ここに安全!

※浸水深さ 家に留まり安全を確保することも可能です。

避難経路を決めるポイント

予定している避難経路が安全かどうかを確認しておきましょう。

- 橋を渡るなど河川に近づくのは危険です。
- 河川が氾濫していなくても水路等の氾濫により側溝や蓋の外れたマンホール等に落下したり、土砂災害が発生する危険があります。

3 『いつ』逃げるかを「避難情報(警戒レベル)」で決めておきましょう

警戒レベル	状況	市町より発令される避難情報	わたしたちのとるべき行動	警戒レベル相当情報
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保 ※市町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令されるものではありません。	● 命の危険。自宅の外に避難することがかえって危険である場合は直ちに安全確保しましょう。	河川管理者より発表 河川水位情報 気象庁より発令 防災気象情報
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難! ~~~~~				
4	災害のおそれ高い	避難指示	● 危険な場所から全員避難しましょう。	氾濫危険情報 …[氾濫危険水位]到達 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	高齢者等避難 ※高齢者以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難するタイミングです。	● 危険な場所から高齢者等(避難に時間のかかる高齢者や障害のある人等)とその避難を支援する者は避難しましょう。	氾濫警戒情報 …[避難判断水位]到達 大雨警報 洪水警報

(参考) 警戒レベル1: 早期注意情報(気象庁が発表)、警戒レベル2: 大雨注意報・洪水注意報(気象庁が発表)

# 実践

## マイ・タイムライン

『わたしの逃げる計画』をつくっておこう!



## 1 『どんな』危険が身のまわりにあるか知っておく!

**水害の危険**  
「洪水ハザードマップ」で確認しましょう。

**土砂災害の危険**  
「土砂災害ハザードマップ」で確認しましょう。

わたしの家は **浸水区域**に

- 含まれています
- 含まれていません

わたしの家は **土砂災害(特別)警戒区域**に

- 含まれています
- 含まれていません

※これらの区域に含まれていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市町からの避難情報を参考に必要に応じて避難しましょう。

## 2 『どこに』『どうやって』逃げるか決めておく!

「避難場所」や「避難経路」をハザードマップで確認しましょう。

避難場所

より安全な避難経路を選びましょう

わたしの避難場所は

- 市町が指定した避難場所
- 安全な親戚や知人宅、ほか
- 家に留まり安全を確保します。例: 1階が浸水するおそれがあるため2階へ移動します。

わたしの非常時持出品(荷物は必要最小限で)

- ハザードマップ
- 筆記用具
- スマホ・携帯電話
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池・バッテリー
- 救急用品、常備薬
- 飲料水
- 非常食(保存食)
- 敷物、ひざ掛けなど
- 衣類、タオルなど
- 軍手、マスクなど
- その他

## 3 『いつ』逃げるか決めておく!

わたしの家に避難に時間を要する人

- ご高齢の方
- 赤ちゃんや小さい子ども
- 介助の必要な方
- 妊婦さん
- 病気の方
- 障がいのある方

チェックあり Yes

チェックなし No

**警戒レベル3 高齢者等避難**

**警戒レベル4 避難指示**

**警戒レベル5 緊急安全確保**

逃げ遅れたために避難を安全に行えない場合は、「より安全な場所へ直ちに避難」しましょう。

- 自宅や近隣の少しでも高い場所へ移動
- 崖から離れた部屋へ移動する

レベル4までに必ず避難

わたしの避難するタイミングは **警戒レベル 3・4** です。

※3,4いずれかを○で囲みましょう。

**緊急時の連絡先**

例: ○○市の防災担当窓口・親戚宅

tel _____